

令和元年度

令和元年度教育活動等に関する外部評価結果

【第2回内部評価委員会】

実施日：令和2年2月14日（金）

【第2回外部評価委員会】

実施日：令和2年3月10日（火）

令和2年3月
沖縄県立農業大学校

(様式1)

令和元年度 沖縄県立農業大学校評価システムシート (内部評価結果)

作成：令和2年3月10日

教育の基本方針		1. 次世代の農業を担う経営感覚に優れた青年農業者等、新たな担い手を育成する。 2. 地域の農業振興を先導する実践的リーダーを養成する。			総合評価			
重点目標		(1) 教育内容の充実・強化 (4) 資格取得率の向上 (7) 教育環境整備と施設管理の徹底 (2) 学生支援の強化 (進路指導の充実、実践力の養成) (5) 入学希望者の確保 (8) 県民サービスの向上 (3) 卒業生の就農率の向上、進路決定率の向上 (6) 効率的な学校運営			A: 80%以上 B: 60%以上80%未満 C: 40%以上60%未満 D: 40%未満			
重点目標	評価内容	評価項目・評価指標	今年度の目標・計画	内部評価	今年度実績	次年度の課題・改善策	外部評価	学校関係者(外部)委員の意見
<重点目標1> 教育内容の充実・強化	ア-1 個々の学生の能力に対応した指導が充実されているか。	①個々の能力に応じたプロジェクト課題の設定や指導	本科(2年) 15課題 短期養成科 5課題 (本科) (短期) 野菜 6 5 花き 2 - 果樹 4 0 肉用牛 3 0 (令和元年度新設) <学生の多様な学びへの取組> 1)他分野を学ぶ栽培各論(実習・座学) ●実習 ●座学 2)アグリクラブ発足 3)資格試験等受験対策勉強会の開催 <プロジェクト研究の評価> ・卒業論文のA評価:90% (本科のみ) ・専攻実習のA評価:95% (本2年+短)	A	■計画通りの実績 実績:本科(2年) 16課題 短期養成科 5課題 (本科) (短期) 野菜 6 5 花き 2 - 果樹 4 0 肉用牛 4 0 *1/31、名護市民会館にてプロジェクト発表会を開催。本科15課題22人、短期養成科8人が発表を行った。関係機関・保護者等の参加者40名 1)他分野を学ぶ栽培各論(実習・座学) ●他分野を学ぶ実習 実績11回 野菜:3回(5/16、5/22、6/5) 花き:3回(5/16、5/22、6/5) 果樹:4回(5/16、5/22、6/5、6/20、7/12) ●他分野を学ぶ栽培各論(座学) 実績8回 野菜:2回(7/18、7/25) 花き:3回(7/22、10/7、11/8) 果樹:3回(9/6、10/21、11/11) 2)アグリクラブ発足 学Pへの参加者 実績:7人 3)資格試験等受験対策勉強会の開催 農業技術検定対策勉強会 実績5回 <プロジェクト研究の評価> ・卒業論文のA評価:87% (本科のみ) ・専攻実習のA評価:96% (本2年+短)	■(*1-内) (*1-内) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①全国大会を目指せるような研究活動に取り組みたい。 ②他分野を学ぶ座学及び実習を次年度も開講する。	A	◆(*1-外) (*1-外) = 外部評価委員によるコメント ①計画通りの実績を上げている。他分野を学ぶ講義は学生や先生からも好評で良い取組と思う。 ②他分野を多く学ぶ機会や、職員自ら資格取得し技術向上に取り組んでいることは評価できる。 ③発表者が多く評価できる。保護者等の参加者も多く、今後も周知に取り組んで下さい。

	<p>(令和元年度新設) 職員の指導力向上に向けた取組</p> <p>1)職員研修の実施</p> <p>2)研修会等への参加</p> <p>3)職員の資格取得</p>	<p>職員の指導力向上に向けた取組</p> <p>1)職員研修 実績：4回</p> <p>①農業高校教諭による模擬授業研修 (3/13) ②職員の指導力強化研修 (4/5、10/28、11/18)</p> <p>2)研修会への参加 実績：11回</p> <p>①フレッシュマントレーナー養成研修 (5/24) ②情報セキュリティ研修 (6/5) ③農業者研修教育施設指導職員研修 (6/25-28) ④ファミリー研修 (7/19) ⑤ラインアップ研修会 (7/24) ⑥西日本ブロック野菜指導職員研修 (8/1～2) ⑦天敵利用促進技術検討会等への参加 (8/5) ⑧リスクマネジメント研修 (9/5) ⑨安全運転管理者研修 (9/27、10/16) ⑩沖縄地域 GAP 推進フォーラム参加 (11/22、1人) ⑪ GAP 指導者養成講座参加 (11/12-14、1人) ⑫ GAP 県外研修 (1人、2/26)</p> <p>3)職員の資格取得 実績：6資格 22人</p> <p>①毒物劇物取扱者資格 (1人) ②農耕用大型特殊運転免許資格 (6人) ③けん引免許 (5人) ④フォークリフト運転技能講習 (7人) ⑤アーク溶接 (2人) ⑥ガス溶接 (1人)</p>			
	<p>1)九州意見発表会への派遣 2)九州プロジェクト成果発表会への派遣 3)全国農業大学校プロジェクト発表会への参加(東京都)</p>	<p>1)計画：1人(福岡県) 2)計画：2人(福岡県) 3)計画：4人(東京都)</p>	<p>■計画通りの実績</p> <p>実績：1人(果樹専攻1年) 実績：5人(2課題 野菜1人、肉用牛2人) *1年生2人派遣 実績：4人(野1人、花1人、果1人、肉1人)</p>		
<p>ア-2 先端的な知識・技術を修得するための実践教育や研修に取り組んでいるか。</p>	<p>②農業研究センター・畜産研究センター等との連携プロジェクトの実施数</p> <p>計画：13課題(1年生)</p> <p>野菜 5課題 花き 1課題 果樹 2課題 肉用牛 5課題</p> <p>R元年度連携プロジェクト外課題数 野(5課題)</p>	<p>■概ね計画通りの実績</p> <p>実績：12課題(1年生)</p> <p>野菜 5課題 花き 1課題 果樹 1課題 肉用牛 5課題</p> <p>A</p> <p>R元年度連携プロジェクト外課題数 野(5課題)：</p> <p>①コラーヤ新品種候補「G7」の北部地域での収益性検討②ヘチマ新品種候補の北部地域における収益性検討③サヤインゲンのつる性品種と節間伸長処理栽培による労働効率の比較④ナス栽培における天</p>	<p>■(*2-内)</p> <p>A</p>	<p>◆(*2-外)</p>	<p>(*2-内) = 内部評価委員による次年度の課題・改善策 ①さらに共同研究を増やして欲しい。</p> <p>(*2-外) = 外部評価委員によるコメント ①プロジェクト課題が研究センターの成果を取り入れており就農後に期待が持てる取組である。 ②今後も最新技術の習得に向けた取り組みに期待します。</p>

	<p>花（1 課題）</p> <p>果（2 課題）</p> <p>肉（2 課題）</p>		<p>敵を利用した IPM の実践⑤ハップル栽培における天敵を利用した IPM の実践</p> <p>花（1 課題） ①トルコギキョウ保温長日処理による 1,2 月出荷作型の検討</p> <p>果（1 課題）: ①ヒートポンプを利用したマンゴ-の収穫期前進化技術の検討</p> <p>肉（7 課題）: ①地域での特定伝染性ウイルス病発生予察調査②種雄牛造成のための現場後代検定③自給粗飼料の安定生産による黒毛和種繁殖成績の向上④黒毛和種去勢肥育牛における高品質牛肉生産技術の検討⑤日本黒毛和種肥育牛の肉質向上とコスト削減の検討⑥削蹄による繁殖雌牛の生産性向上⑦産肉生理理論に基づく子牛育成技術による発育の高位平準化</p> <p>上記の内、今年度継続課題</p> <p>野（1 課題）: ①サインゲンのジベレリン処理技術の検討</p> <p>花（1 課題）: ①トルコギキョウ保温長日処理による 1,2 月出荷作型の検討</p> <p>果樹（1 課題）: ①ヒートポンプを利用したマンゴ-の収穫期前進化技術の検討</p> <p>肉（7 課題）: ①地域での特定伝染性ウイルス病発生予察調査②種雄牛造成のための現場後代検定③自給粗飼料の安定生産による黒毛和種繁殖成績の向上④黒毛和種去勢肥育牛における高品質牛肉生産技術の検討⑤日本黒毛和種肥育牛の肉質向上とコスト削減の検討⑥削蹄による繁殖雌牛の生産性向上⑦産肉生理理論に基づく子牛育成技術による発育の高位平準化</p>		
イ. 先進農家等派遣研修	①先進農家等への派遣研修	計画：23人	■計画通りの実績 実績：23人	A	◆（*3-外）

<p>について十分な教育体制を整備しているか</p>	<p>②先進農家、市場等視察研修回数</p> <p>③海外派遣研修</p>	<p>＜県内計画＞ 20人 農業法人4件（4人） 先進農家10件（10人） 企業等5件（6人） ＜県外計画＞ 3人 農業法人2件（3人） （派遣先：鹿児島1、静岡2）</p> <p>計画：36回 野8回、花8回、 果6回、肉12回 全体2回</p> <p>計画：1名</p>	<p>＜県内計画＞ 20人 農業法人4件（4人） 先進農家10件（10人） 農業関係企業・団体等5件（6人） ＜県外計画＞ 3人 農業法人2件（3人） ＜派遣実習の評価＞</p> <p>・先進農家派遣実習を9/24～11/1の6週間実施報告会を11/13に実施。</p> <p>・派遣実習でのA評価率：87%</p> <p>■概ね計画通りの実績 実績：38回 野4回、花8回、果10回、肉15回 全専攻共通1回 ①沖縄県農業青年プロジェクト・意見発表会への聴講研修（11/1 28人）</p> <p>■計画を下回った 実績：0名（受験者1名、合格者0名） *説明会の開催（1回、5/15）</p>	<p>(* 3 -外) =外部評価委員によるコメント</p> <p>①先進農家や市場等視察研修は、計画通りの実績を上げており、学生の今後の農業経営に非常に参考になる取組だと思う。海外派遣に対する学生の意識付に期待したい。 ②実農家の研修でも評価の高い学生が多く大変良いと感じた。今後も期待しています。</p>	
<p>ウ.農業高校との連携、地域等との交流活動は行われているか</p>	<p>①農業高校等の連携活動回数</p>	<p>計画：5回 ①県学校農業クラブ連盟大会審査員派遣（6/27～6/28） 計画：3名 ②農産物活用での連携授業 パッションフルーツフォンケーキ、乳酸作り 計画：1回（7/3） ③農業高校生の実習交流等の受入 計画：随時</p>	<p>■計画以上の実績 実績：22回 ①実績：職員3名派遣 ②実績：農産物加工（1回） パッションフルーツフォンケーキ、乳酸 ③実績：252人 北部農林高校 熱帯農業科1年37名（4/17視察） " 園芸科学科1年34名（6/5視察） " 熱帯農業科2年8名（1/27実習） " " 2年24名（2/6実習） " " 1年35名（2/12実習） " " 1年35名（3/11実習） 中部農林高校 園芸科学科1年42名（4/23視察） 北海道岩見沢農業高校 37名（11/4視察）</p>	<p>A</p>	<p>◆ (* 4 -外)</p> <p>(* 4 -外) =外部評価委員によるコメント</p> <p>①農高との交流は盛んに行われていた。北農高校がお世話になりました。 ②農業高校や地域等との交流は計画以上の実績を上げており非常に素晴らしい。 ③中学校での出前授業の取組は評価できる。 ④県外も含め多くの学校・学生の受入交流が行われ、素晴らしいと感じた。地域交流を今後も期待します。</p>

		<p>④北部農林高校へのプロジェクト学習九州選抜審査会への審査員派遣依頼 計画：1回</p> <p>⑤プロジェクト発表会招待 計画：1回</p> <p>⑥教育センター ICT 施設視察研修</p> <p>⑦夏季短期研修受入（R 1 新規）</p> <p>⑧高校 PTA 総会での農大 PR（R 1 新規）</p> <p>⑨農業教育研究会への参加（R 1 新規）</p> <p>⑩農業祭への参加（3校）</p>	<p>④実績：1回、1人（12/13）</p> <p>⑤実績：1回、3人（1/31）</p> <p>⑥実績：1回（対象：1年、短期 実施：6/3）</p> <p>⑦実績：1回、高校教諭 15人、 *受入専攻：野菜専攻（7/26）</p> <p>⑧実績：3校 北部農林高校（5/12） 南部農林高校（5/11） 久米島高校（5/18）</p> <p>⑨実績：2回（6月・2月）</p> <p>⑩実績：3校 ・北部農林高校（12/7） ・中部農林高校（12/14） ・南部農林高校（12/8）</p>		
	<p>②地域等との交流回数</p>	<p>計画：23回 野菜（4回）</p> <p>花き（3回）</p> <p>果樹（3回）</p> <p>肉用牛（3回）</p> <p>全体共通（10回）</p>	<p>■計画以上の実績</p> <p>実績：27回 野菜（6回）</p> <p>①名護市中山区ゴーヤーの日イベント参加（5/8） ②土壌保全の日イベント参加（7/12） ③ジュニア農業大学校収穫体験（7/29） ④宜野座村まつりわくわく体験コーナー出展（10/26～27） ⑤障害者支援施設愛泉園収穫体験受入（2/4、18人） ⑥大北小収穫体験学習（2/20、2年生90人、3年生90人）</p> <p>花き（3回）</p> <p>①花摘み体験（5/21） ②ジュニア農業大学校フラワーアレンジメント教室（7/29） ③フラワーアレンジメント教室（12/1）</p> <p>果樹（2回）</p> <p>①マンゴー即売会（7/31道の駅） ②ジュニア農業大学校</p> <p>肉用牛（4回）</p> <p>①ジュニア農業大学校（7/29） ②名護市畜産共進会（8/25） ③県枝肉共進会出品（10/29） ④県畜産共進会（11/1）</p> <p>全体共通（12回）</p> <p>①ジュニア農業大学校（7/29）</p>		

			②やんばる産業まつり (10/12～13) ③名護中学校での出前早朝農業講座 (8回、6月～12月、650人) ④キャリア学習会 (琉大附属中3年40名) ⑤大北小キャリア教育受入 (3年生、90名)		
エ.関係分野との連携による実践的な職業教育が体系的に行われているか	①毒劇物取扱資格取得研修 (第一農薬主催、JA主催) への受講学生数 ②マナー講座の開催 (本科1, 2年) ③GAPの基礎知識の習得 ④企業等との連携による商品開発	計画: 希望者 計画: 1回 (対象: 本科学生) 計画: 8回 計画: 2社	■計画以上の実績 実績: 11人 ①校内特別講習 (第一農薬) (3回、6/25、7/2、7/9) A ②JA直前講習 実績: 1回 (7/24、51人) 講師: ハローワーク職員 実績: 9回 (講義2回、勉強会3回、研修会参加1回、県外視察2回、シンポジウム参加1回) 実績: 4社 ・なごアグリパーク (農大祭) ・ファミリーマート (学P) ・山吹 (農大祭) ・パン工房アムール (農大祭)		◆ (*5-外) A (*5-外) = 外部評価委員によるコメント ①新たな取り組みが素晴らしい。 ②学Pの取組は学生の飛躍に繋がる取り組みである。 ③他企業とも積極的に交流している。 ④JAとしても協力できることを行いたい。学P参加も学生の自信に繋がっていると思われる。
オ.防火防災・事故対応訓練は体系的に行われているか	①防災等各種訓練の実施 ②救急救命措置訓練の実施 ③交通安全講習会の実施	①計画: 1回 (4/23 名護消防署) ②計画: 1回 (5/28 琉球防災センター) ③計画: 1回 (7/26 大同火災、名護警察署)	■計画通りの実績 ①実績: 1回 (5/28) 避難・消火訓練・地震対策DVD研修 ②実績: 1回 (4/23) 心肺蘇生、AED A ③実績: 2回 (7/26、9/30) ・交通安全講話 (学生・職員対象) ・交通安全について勉強会 (職員対象) *業務で利用頻度の高い公共道路等の危険箇	■ (*6-内) A	◆ (*6-外) (*6-内) ①防災・事故訓練等は、計画的に引き続き取り組む。

		④農作業安全啓発への取組	④計画：3回 1)講習会の実施 2)ヒヤリハット事例の作成	所や事故多発地点等についての資料を作成。事故の未然防止対策について全職員に情報を共有。 ④実績：3回 ・農作業安全指針の作成と職員への周知（4/4） ・学生への農作業安全講習（2回、4/23、10/28）	（*6-外）=外部評価委員によるコメント ①防災・事故対策について、全職員が情報共有し学生も含め、農作業安全啓発は今後も続けて欲しい。 ②事故の未然防止対策としてマニュアルを作成したことが評価できる。 ③計画以上の実績で大変良いと思う。今後も継続して下さい。	
＜重点目標2＞ 学生支援の強化 （進路指導の充実、実践力の養成）	ア-1 個々の学生の進路に対応した指導が充実されているか ア-2 保護者との連携は、適切に行われているか	①学生・保護者・担任との三者進路面談回数	計画：2回 7/4 2年生対象 10/16 1年生対象	A	■計画通りの実績 実績：2回 53名 2年対象（保護者参加率 83%） 1年対象（ // 87%） 実績：1回（7/9、参加事業者数10社）	◆（*7-外） （*7-外） ①三者面談で学生・保護者・職員と情報共有が出来、良い関係が構築されていると感じた。
		②農大生就農トライアル相談会の実施	計画：1回			
		③沖縄県新規就職相談会等への参加や就職先として有力な農場視察	計画：随時 第1回（8/4） 第2回（12/8）			
		④新規就農コーディネーターとの連携	計画：随時			
⑤農業次世代人材投資資金準備型受給希望学生への申請手続き等に関する助言		計画：随時 相談件数16人 ・現在受給者6名 ・R1 1次応募者6名 (7月時点)		■計画通りの実績 実績：新規6人 ・今年度の新規申請者は、合計6人（本科1年1人、短期養成科5人）。昨年度からの継続6人を含めると受給者は合計12人。		

		⑥後援会ホームページ及びLINEの作成 (R1 新規)		■新規に取り組んだ 実績：4月からの運用開始		
イ.学生自治会活動は 十分行えているか	①自治会の活動支援 1)農業経営力養成講座への派遣 2)九州地区リーダー研修会への派遣 3)九州地区親善体育大会への派遣 4)自治会活動への取組支援 5)校内球技大会等の開催	1)計画：2人(野菜2年) 2)計画：2人 3)計画：希望者 4)計画：随時 5)計画：3回		■計画通りの実績 1)実績：2人(7/29～7/31) (派遣先：北海道、野菜専攻2年2名) 2)実績：2人(6/13～6/14) 3)実績：27人(9/19～9/20) A (バスケ8人、野球9人、ロードレース2人、バレーボール8人) 4)実績：役員会16回 職員と学生との意見交換会 (2回、2/5、2/10) 5)実績：自治会行事3回 (ソフトボール、バレー、フットサル)		◆(*8-外) (*8-外) ①自治会活動の充実が図られている。 ②九州大会など参加者も多い。他地区とも交流が出来て良い取り組みであると思う。
<重点目標3> 卒業生の就農率の向上、進路決定率の向上	ア 就農率の目標を達成出来たか。 イ 卒業生全員の進路は決定したか。 ①就農率 ②卒業生の全員の進路決定(目標100%)	目標：就農率60%(本科+短期) 目標：進路決定率100%		■概ね目標通りの実績 実績：就農率59.4%(法人就農含む、1/31時点) *本科13名/23名、短期6名/8名(1/15現在) *R1年度農業次世代人材投資資金準備型受給者(1年生1人、2年生6人、短期5人) (就農率の参考) 全国農大平均 56%(H30) 九州ブロック平均 65%(H30) B 実績：100%		◆(*9-外) A (*9-外) ①進路決定率100%は高く評価できる。日頃の学生との相談・支援の成果である。 ②進路決定率100%は素晴らしい。就農率の向上に期待したい。 ③就農者数が少ないのが残念である。 ④農業法人等との連携がしっかり取れていると思う。 ⑤就農率も概ね達成出来ており、又、進路決定率も100%と大変良いと思う。
<重点目標4> 資格取得率の向上	ア. 資格取得の向上のため、指導が充実され ①農業機械関連資格取得率			■概ね目標通りの実績 A ①農業機械関連資格取得率	■(*10-内)	◆(*10-外) A

上	<p>ているか。</p> <p>イ. 営農や就職に有利な資格取得の推進が図られているか</p>	<p>1) 農業機械士 2) 農耕用大型特殊 3) 農耕用けん引 4) フォークリフト運転技能講習修了</p> <p>②畜産関連資格取得率、受講率 1) 家畜人工授精師 2) 家畜商</p> <p>①毒劇物取扱者資格取得数</p> <p>②農業技術検定（3級、2級）合格者数</p> <p>③ガス溶接技能講習修了</p> <p>④アーク溶接特別教育終了</p>	<p>1) 目標：認定率 70 % 2) 目標：合格率 100 % 3) 目標： " 100 % 4) 目標： " 100 %</p> <p>1)目標：合格率 100 % 2)目標： " 100%</p> <p>①目標：2人 (受験者 11名)</p> <p>②目標：2級合格率50%以上 3級合格率70%以上</p> <p>③目標：合格率100 %</p> <p>④目標： " 100 %</p>	<p>1) 実績：26人（合格率78%） 2) 実績：29人（ " 91%） 3) 実績：18人（ " 100%） 4) 実績：26人（ " 100%）</p> <p>②畜産関連資格取得率、受講率 1) 実績：12人（合格率100%） 2) 実績：一人 (*県内での豚熱発生の影響を受け延期となった)</p> <p>■目標通りの実績 ①実績：合格2人（受験者11人、合格率18 %）</p> <p>②実績：2級合格5人（受験7人、合格率71%） (参考：R1年度2級合格率 全国22.8%) 3級合格4人（受験6人、合格率67%） (参考：R1年度3級合格率 全国59.1%)</p> <p>③実績：35人（合格率 100 %）</p> <p>④実績：29人（合格率 100 %）</p>	<p>(* 10 -内)</p> <p>①継続指導により合格率UPを目指す。</p> <p>(* 10 -外)</p> <p>①受験者の増加と合格率のアップに向けて頑張っている。 ②毒劇物取扱者資格試験の合格率が低いので、合格率を上げる取組強化が必要と思われる。 ③概ね達成出来ている。</p>																																	
<p><重点目標5> 入学希望者の確保</p>	<p>ア-1. 学生確保の活動は、適切に行われているか。</p> <p>ア-2. 教育活動の積極的な情報公開に努めているか。</p>	<p>①オープンキャンパスの参加者数</p> <p>②高校生との個別進路面談</p> <p>③ホームページによる情報発信数</p> <p>④学校紹介・入学案内</p>	<p>計画：2回 第1回オープンキャンパス（6/7） 第2回オープンキャンパス（7/13）</p> <p>計画：随時 実施時期5月～6月</p> <p>計画：月1回以上</p> <p>計画：11回</p>	<p>■計画以上の実績</p> <p>①実績：2回、64人 第1回オープンキャンパス（6/7 41人） 第2回オープンキャンパス（7/13 23人）</p> <p>②実績：5校、28人 実施時期5月～7月、2月</p> <p>③実績：18回（3/5見込み）</p> <p>④実績：56回 1)進路ガイダンスへの参加</p> <p>那覇市会場（6/12、11名） 宜野湾市会場（6/11、3名） 名護市会場（6/13、8名） 那覇商業高校（2/18、2年生対象） 中部農林高校（2/27、1年・2年対象）</p> <p>2)高校訪問による学生募集活動 21校（本島14校、宮古4校、八重山3校）</p> <p>3)市町村・県・公民館・JA・専門学校・</p>	<p>◆ (* 11-外)</p> <p>A</p> <p>(* 11-外)</p> <p>①様々な機会がよく活動がされていた。 ②学生募集活動の取組は、今後も継続を期待したい。 ③学生確保に向けての取り組みが充実していると感じた。 ④学P等の取り組みも継続を期待している。</p> <p>令和元年度(本科42期生、短期14期生)入試状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>出願者</th> <th>合格者</th> <th>入学者</th> <th>充足率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本科</td> <td rowspan="2">30</td> <td>園芸</td> <td>21</td> <td>22</td> <td rowspan="2">107%</td> </tr> <tr> <td>畜産</td> <td>17</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>本科合計</td> <td>30</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>107%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>短期養成合計</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>全体(本科+短期)</td> <td>40</td> <td>48</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	課程	定員	出願者	合格者	入学者	充足率	本科	30	園芸	21	22	107%	畜産	17	10	本科合計	30	38	32	107%		短期養成合計	10	10	9	8	80%	全体(本科+短期)	40	48	43	40	100%
課程	定員	出願者	合格者	入学者	充足率																																	
本科	30	園芸	21	22	107%																																	
畜産		17	10																																			
本科合計	30	38	32	107%																																		
短期養成合計	10	10	9	8	80%																																	
全体(本科+短期)	40	48	43	40	100%																																	

		⑤マスコミ等による学校 PR	計画：随時	<p>その他訪問による学生募集活動 23 箇所</p> <p>4) 入学案内配布（県内全高校、市町村、JA 等）</p> <p>5) 農業高校 PTA 総会での学校紹介 3 校（北農、南農、久米島）</p> <p>6) 沖縄県新規就農相談会での入学案内（8/4、12/8）</p> <p>7) やんばる産業祭りにて学校紹介（10/12～13）</p> <p>8) 農大祭での学校紹介（12/1）</p> <p>⑤実績：13 回</p> <p>1) ゴーヤーの日地域連携イベント参加（5/8、TV、新聞）</p> <p>2) 花摘み体験（5/21、TV、新聞）</p> <p>3) ファミリーマート学 P 参加（7 月～9 月、ラジオ、TV、新聞）</p> <p>4) 沖縄県畜産共進会 農大牛優秀賞受賞記者発表（11/20、新聞）</p> <p>5) 大北小 3 年生 農業に関するキャリア学習（TV、新聞）</p> <p>6) 農林水産部長へのマンガ-贈呈（7/19、新聞、TV、ラジオ）</p> <p>7) ジュニア農業大学校（=親子ふれあい農業体験）（7/29、TV、新聞）</p> <p>8) 先進農家等派遣実習（新聞、JA 広報誌）</p> <p>9) 農大祭（12 月、TV、ラジオ、新聞）</p> <p>10) 企業とコラボ商品開発記者発表（新聞、TV）</p> <p>11) 第 17 回農大祭（12/2、TV、新聞）</p> <p>12) R1 年度プロジェクト学習成果発表会（1/31、TV）</p> <p>13) R1 年度卒業式（3/5、新聞）</p>		
	ア.法令の遵守と適切な予算運営がなされているか	①適正な予算執行がなされているか	①定期監査目標 1) 予算の適正な執行	<p>■目標通りの実績</p> <p>実績：監査指摘事項なし</p> <p>予算の適正な執行に努めている</p>	A	A
<重点目標 6> 効率的な学校運営	イ.職員の情報の共有化が図られているか	①職員の情報共有化が図られているか	計画：週 1 回	<p>■計画通りの実績</p> <p>実績：70 回（3 月下旬見込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員朝会（毎週 1 回、50 回/年） ・農大祭運営会議（8 月～11 月、3 回） ・学生指導にかかる運営会議（8 回） ・就農・就職支援対策会議（2 回） ・学校評価内部委員会（2 回） 	A	A

				・教務委員会（5回）		
	ウ.学生の安全管理に対する意識は醸成されているか	①農作業事故発生件数	目標：0件	B ■目標をやや下回った 実績：農作業中のケガ 1件 ①パイルハウス組立実習中に左手指が	■（*14-内）	◆（*14-外）
	エ.経営感覚の醸成、プロジェクト実践研修での売上げ目標は達成出来ているか	②生産物の売払収入	目標：非公開	A ■目標以上の実績 実績：非公開		◆（*15-外）
＜重点目標7＞ 教育環境整備と施設管理	ア-1.教育施設、機械の充足度、維持管理、整理整頓、廃棄は、適切に行われているか。	①教育施設の移転整備に向けた準備	計画 ・新農大基本計画ワーキング会議への出席（4回/年） ・新農大基本計画策定委員会への出席（4回/年） ・現農大登録の備品確認	A ■計画以上の実績 実績：10回 ①新農大基本計画ワーキング会議への出席（4回/年） ②新農大基本計画策定委員会への出席（4回/年） ③現農大登録の備品確認作業 ④移転先の現地視察（1回、8/30）	■（*16-内）	◆（*16-外）
	ア-2 学生寮の生活環境への支援は行われているか。	②農業施設、機械等の充足度、廃棄等	計画：2件	実績：13件 ①肉用牛専攻トラクタの購入（7/10） ②肉用牛専攻テッダーレーキの購入（9/25） ③肉用牛専攻ホイールカッターの購入（9/25） ④野菜専攻トラクタの購入（7/10） ⑤野菜専攻ロータリーの購入（9/25） ⑥花き専攻管理機の購入 ⑦学生食堂の冷蔵ショーケースの購入 ⑧女子寮防犯カメラ設置 ⑨肉用牛専攻ローバレーターの修繕（2月） ⑩野菜専攻トラクタ（KT280）の修繕（2月） ⑪野菜専攻平畝立成型機（TA800）の修繕（2月） ⑫wi-f設置（学生寮、食堂、教育棟） ⑬ルール電子図書館電子版利用契約（全学生）		
		③学校施設の維持管理等	計画：1件	■計画以上の実績 実績：9件		

				①男子学生寮トイレ詰まり除去工事 ②食堂排水溝詰まり除去工事 ③教育棟2階廊下フロアシートの取替修繕 ④教育棟1階女子トイレの改修工事 ⑤肉用牛繁殖牛舎の骨材補強及び牛房柵の工事 ⑥舎監室エアコン更新 ⑦肉用牛専攻の草地内危険木の伐採 ⑧男子寮トイレ配管詰まり修繕 ⑨学生寮の修繕（複数箇所）（3月）		
<重点目標8> 県民サービスの向上	ア. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。	①就農サポート講座の受講者 ②夜間農業講座開催数 ③農業機械士養成研修開催数 ④農業機械マネジメント研修開催数 ⑤指導農業機械士研修 ⑥視察の受入 ⑦研修受入 ⑧沖縄県国際農友会との連携活動 ⑨家畜人工授精師養成講習会の開催 ⑩農大祭来場者	①計画 ・基礎実習コース：4回 ・基礎講座コース：5回 ②計画：5回50人（10月） ③計画：2回30人 ④計画：1回 5人 ⑤計画：1回 3人 ⑥計画：随時 ⑦計画：随時連携 ⑧計画：3回 ⑨計画：23人 （一般受講生11名含む） ⑩計画：3000人	■計画通りの実績 A ①実績 ・基礎実習コース：4回10人 ・基礎講座コース：5回3人 ②実績：5回54人（10月） ③実績：2回28人 ④実績：1回 5人 ⑤実績：1回 1人 ⑥実績：32件、459人（2/18時点） ⑦実績：2回21人 1) 農業機械普及指導員研修（1回、6人） 2) 農大過卒生（就農者）との現地検討会及び意見交換会（1回、35人） ⑧実績：4回 1) 海外農業派遣研修説明会 2) 総会への参加 3) 農大祭での出展協力 4) 事務局協力 ⑨実績：23人 *一般受講生12名含む ⑩実績：3122人 *来場者数過去最高		◆（*17-外） A （*17-外） ①農大祭来場者数の増加は、これまでの取組の成果である ②計画以上の実績である。農大過卒生との意見交換会や農大祭の来場者の実績などから地域と交流出来ていると感じた。